



二月 (平) 如月 心宿

二月四日立春の節より
月命壬寅八白土星の月
暗剣殺東北方

旧正月小
二月月小

日	曜日	干支	九星	行事	旧暦	六輝	中段	共宿	下段	日出	月入	満潮	干潮
14日	火	みづのえさる	六白	聖バレンタインデー、奈良長谷寺だだ押し	十八	赤口	やぶる	翼	大みう	6.29 17.22	20.39 8.17	7.01 18.47	0.48 13.02
13日	月	かのとひつじ	五黄		十七	大安	とる	張	大みう	6.30 17.21	19.40 7.42	6.36 18.12	0.16 12.30
12日	日	かのえうま	四緑	初午、京都伏見稲荷初午祭、一粒万倍日、笠間稲荷初午祭、一粒万倍日	十六	佛滅	さだん	星	ぶく日	6.31 17.20	18.40 7.05	6.10 17.01	11.56 —
11日	土	つちのとみ	三碧	建国記念の日、〇望九時三三分、奈良橿原神宮例祭、旧小正月、己巳	十五	先負	たいら	柳	ぢう日	6.32 17.19	17.38 6.25	5.42 16.22	11.21 23.41
10日	金	つちのえたつ	二黒	加賀菅生石部祭、福島信夫三山曉参り	十四	友引	みつ	鬼	天おん	6.33 17.18	16.34 5.40	5.12 15.38	10.43 23.03
9日	木	ひのと	一白		十三	先勝	のぞく	井	神よし	6.34 17.17	15.31 4.49	4.39 14.45	10.00 22.21
8日	水	ひのえとら	九紫	こと始め、針供養	十二	赤口	たつ	参	天おん	6.35 17.16	14.29 3.53	4.01 13.30	9.07 21.34
7日	火	きのとうし	八白	北方領土の日、一粒万倍日、不成就日	十一	大安	とづ	背	神よし	6.36 17.15	13.31 2.52	3.08 11.47	7.53 20.40
6日	月	きのえ	七赤	新宮神倉神社火祭、甲子	十	佛滅	ひらく	畢	天おん	6.37 17.14	12.37 1.48	1.09 —	6.04 18.15
5日	日	みづのえさる	六白	八せん終り、三隣亡	九	先負	おさん	昂	母倉	6.38 17.13	11.49 0.43	10.29 —	4.14 16.42
4日	土	みづのえいぬ	五黄	立春〇時三三分、松山椿祭(3日~5日)	八	友引	なる	胃	●	6.39 17.12	11.05 —	9.38 22.49	3.14 15.27
3日	金	かのと	四緑	節分、旧七草、水沢黒石寺蘇民祭	七	先勝	なる	婁	●	6.40 17.10	10.25 23.28	8.59 21.23	2.33 14.32
2日	木	かのえさる	三碧	庚申、尾鷲まつり(1日~5日)	六	赤口	あやぶ	奎	大みう	6.40 17.09	9.48 22.33	8.25 20.21	1.57 14.32
1日	水	つちのえさる	二黒	福井永平寺涅槃会撰心(7日迄)	五	大安	やぶる	壁	大みう	6.41 17.08	9.11 21.29	7.53 19.30	1.24 13.49

暦日上、二月初頭には「立春」という春めいた節日が設けられているが、気候的に雪ままだ寒波、寒風の荒れ狂うときである。
「冠」とくこの項に入れることもないが、「立春」は陰暦の正月で、太陰太陽暦を使用する東洋の占いの新年の起点とされている。したがって表紙裏の年齢早見表にも説明があるように、立春前日の節分までは、前年の生まれ年になる。この月は一ヵ月最少日の特異月で、しかもほぼ四年に一回閏日がある。
「婿」婚礼に直接関係ないが、十四日は「聖バレンタインデー」といい、欧米では「ポロイズ」女性から男性にプロポーズをしてもいいという風習がある。
もともとバレンチヌス司教の殉教の日であるが、これにギリシャ神話の女神のロマンが重なったものらしい。最近ではわが国でも

15日	水	みづのとり	七赤	全国緑化キャンペーン、ねはん会、横手かまくら、不成就日	十九	先勝	あやぶ	軫	十し	6.28 17.23	21.36 8.49	7.25 19.23	1.17 13.34
16日	木	きのえいぬ	八白	全国飢餓禁止、日連聖人誕生会、旧二十日正月	廿	友引	なる	角	●	6.27 17.24	22.31 9.22	7.50 20.03	1.45 14.08
17日	金	きのと	九紫	伊勢神宮祈年祭(23日迄)、八戸えんぶり(20日迄)、三隣亡	廿一	先負	おさん	亢	母倉	6.26 17.25	23.26 9.55	8.17 20.50	2.13 14.47
18日	土	ひのえ	ね一白	雨水二〇時三三分、岡山西大寺会陽禪祭	廿二	佛滅	ひらく	氏	母倉	6.25 17.26	—	8.49 21.55	2.42 15.41
19日	日	ひのと	二黒	下弦四時三三分、一粒万倍日、アレルギー週間(17日~23日)	廿三	大安	とづ	房	神よし	6.24 17.27	0.20 11.06	9.27 23.53	3.19 17.12
20日	月	つちのえとら	三碧	水戸梅まつり(3月31日迄)、小つち、天しや	廿四	赤口	たつ	心	よろづ	6.22 17.28	1.13 11.47	10.21 —	4.42 18.53
21日	火	つちのとう	四緑		廿五	先勝	のぞく	尾	神よし	6.21 17.29	2.05 12.31	11.50 —	6.56 20.03
22日	水	かのえたつ	五黄		廿六	友引	みつ	箕	天おん	6.20 17.29	2.55 13.19	13.39 —	8.19 20.54
23日	木	かのと	六白	皇太子誕生日、不成就日、京都醍醐寺五大力尊仁王会	廿七	先負	たいら	斗	天おん	6.19 17.30	3.44 14.12	4.05 14.44	9.14 21.37
24日	金	みづのえさる	七赤	大田原大田山地蔵尊春大祭、二の午、一粒万倍日	廿八	佛滅	さだん	牛	神よし	6.18 17.31	4.29 15.08	4.32 15.29	9.56 22.16
25日	土	みづのえさる	八白	京都北野天満宮梅花祭、福井勝山左義長祭	廿九	大安	とる	女	天おん	6.16 17.32	5.13 16.08	4.59 16.09	10.33 22.52
26日	日	きのえさる	九紫	朔三時五八分、良忍上人忌、十方ぐれ入り	朔	友引	やぶる	虚	大みう	6.15 17.33	5.54 17.10	5.25 16.46	11.08 23.27
27日	月	きのと	一白	二日灸、不成就日	二	先負	あやぶ	危	十し	6.14 17.34	6.32 18.13	5.53 17.24	11.42 —
28日	火	ひのえいぬ	二黒		三	佛滅	なる	室	●	6.13 17.35	7.10 19.18	6.20 18.04	0.01 12.17

プレゼントするならわしをまねて、女性から男性にわたすチョコレートなどが盛んに売られるようになった。
「祭」「節分」は、本来は四季の移り変わるころのこととされている。最初の日の立春の前日、地方によって旧暦の前日、地方によって旧暦の大晦日(おみそか)として、それぞれ伝説ある行事が行われている。
一般的には「福は内、鬼は外」と福豆(大豆の炒ったもの)をまき、この豆を年齢の数(地方によっては一粒多く、だけ食べる厄よけがある。終ひいらぎ)の枝にイワシの頭をさしたり、ニンニクなど強い臭気のあるものを添え「邪気」よけを行う風習もある。福豆をまさき悪鬼を払うので追儺(おにやらい)といふ古くから神社仏閣で、この儀式は年男により行われている。十一日は「建国記念の日」として、国民の祝日になっている。

※「海上保安庁図誌利用第二八〇三〇二号」
※東京・芝浦の満潮・干潮の時刻は海上保安庁刊行の「平成二十九年潮汐表第一巻」から採用したもので、異常な気象の影響は考慮していません。
※行事・祭りは変更になる場合があります。事前に関係諸団体にご確認ください。